

放送ストリーミング情報掲載

放送ストリーミング情報【2022No.239】(HP 掲載)

分類：放送

局等：NHK 教育 TV

作曲家：ヨーゼフ・シュトラウス他

曲名：フェニックス行進曲他

演奏：ダニエル・バレンボイム指揮ウイーンフィル

関連サイト：[Eテレ]2022年1月1日(土) 午後7:00～午後10:00

2022年1月1日ウイーン楽友会館における演奏です。

<https://www.wienerphilharmoniker.at/ja/newyearsconcert>

放送プログラムは下記のとおりです。

なお、再放送は、[Eテレ]2022年1月8日(土) 午後2:00～午後17:00です。

【出演】

指揮者 ダニエル・バレンボイム

ゲスト 林家三平・市川紗椰・反田恭平

アナウンサー 川崎理加

【楽曲】

第1部

1. フェニックス行進曲 作品 105★ (ヨーゼフ・シュトラウス)
2. ワルツ「フェニックスの羽ばたき」 作品 125 (ヨハン・シュトラウス 2世)
3. ポルカ・マズルカ「海の精セイレーン」 作品 248★ (ヨーゼフ・シュトラウス)
4. ギャロップ「小さな広告」 作品 4 (ヨーゼフ・ヘルメスベルガー)
5. ワルツ「朝刊」 作品 279 (ヨハン・シュトラウス 2世)
6. ポルカ・シュネル「ちょっとした記録」 作品 128★ (エドゥアルト・シュトラウス)

第2部

7. オペレッタ「こうもり」 序曲 (ヨハン・シュトラウス 2世)
8. 音楽の冗談「シャンパン・ポルカ」 作品 211 (ヨハン・シュトラウス 2世)
9. ワルツ「夜遊び」 作品 466★ (カール・ミヒャエル・ツィーラー)
10. ペルシャ行進曲 作品 289 (ヨハン・シュトラウス 2世)
11. ワルツ「千一夜物語」 作品 346 (ヨハン・シュトラウス 2世)
12. ポルカ・フランセーズ「プラハへご挨拶」 作品 144 (エドゥアルト・シュトラウス)
13. 性格的小品「家の精霊」★ (ヨーゼフ・ヘルメスベルガー)

14. ポルカ・フランセーズ「ニンフのポルカ」 作品 50★ (ヨーゼフ・シュトラウス)
15. ワルツ「天体の音楽」 作品 235 (ヨーゼフ・シュトラウス)
アンコール曲
16. 美しき青きドナウ (ヨハン・シュトラウス)
17. ラデツキー行進曲 (ハイドン)



昨年は無観客の開催でしたが、今回はリハーサルや演奏は感染対策を徹底し、観客数も1000人に抑えての開催です。インターミッションには、NHKのスタジオからゲストの反田恭平のピチカートポルカのピアノ演奏もありました。

例年、ウイーンフィルニューイヤーコンサートはDA-3000により5.6MHzDSDのフォーマットで録音を残していますが、今年のニューイヤーコンサートでは、DA-3000にバランス入力し、バランスアナログアキュライザー経由で録音していることは、昨年と同様ですが、バランスアナログアキュライザーにはヴォリュームアキュライザーを貼り、DA-3000などの電源入力端子部にはUSBダンパーを装着しています。

録音した5.6MHzDSDをfidataにコピーし、BrooklynDAC+からTruPhase経由で300Bアンプまでバランス接続で再生しました。なお、TruPhaseのヴォリュームと300Bアンプにはヴォリュームアキュライザーを貼っています。

録音音源の再生の印象としては、ウイーンフィルらしい弦や木管の柔らかく繊細な表現が出ています。昨年の録音音源も比較試聴しましたが、これも同様に印象がよくなっています。なお、昨年は無観客の条件での録音ですので、静寂感があり、録音時の条件の違いより、これらの印象では、再生時の条件の違いが大きく寄与しているものと思われます。

NHKのスタジオの反田恭平のピチカートポルカのピアノ演奏は、ホールのような音響効果はありませんが、直接音がリアルに捉えられています。

以上